

佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
人間の尊厳と自立 Human dignity and independence		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(介護福祉士養成課程 必修)	介護福祉士養成課程必修
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
倫理学、社会学				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
介護福祉士養成課程指定科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
山田 昇	講義棟2F	火・水・木9:00～16:00 (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
「人間」の理解を基礎として、人間としての尊厳の保持と自立(自律)した生活を支える必要性について理解し、介護場面における倫理的課題について対応するための基礎となる能力を養う。				
授業の目標				
①人間の理解を深め、人間の尊厳と自立(自律)の重要性を説明できるようにする。 ②人間の自立(自律)の概念と構造を具体的に説明できるようにする。 ③介護を必要とする人に対する尊厳の保持と自立支援の必要性を説明できるようにする。 ④介護場面における倫理的課題に対応できる基礎的知識を説明できるようにする。				
授業の方法				
講義を中心に個人の尊厳・権利進学・社会的排除等のケース研究を行い、虐待や不適切介護等、権利擁護の重要性を理解させる。				
学習の成果(学習成果)				
①福祉サービス受給者の個人の尊厳と人権擁護の重要性を理解し、説明することができる。 ②権利擁護のための支援の在り方について理解し、説明することができる。 ③介護現場における利用者支援の基本的態度の在り方について理解し、説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(授業の進め方、留意事項、成績評価等) 人間の基本的な人権と社会福祉対象者の支援状況について			
第2回目	福祉と人権① 憲法第11条の基本的な人権の尊重と社会的排除について			
第3回目	福祉と人権② 地域・福祉施設・医療機関における人権問題について			
第4回目	福祉と人権③ 人間理解と差別・社会的排除の倫理について			
第5回目	人間の自立と生活① 障害者(知的障害・精神障害を中心として)			
第6回目	人間の自立と生活② 高齢者(認知症高齢者を中心として)			

第7回目	人間の自立と生活③ 特別支援教育と障害児の発達支援について		
第8回目	人間の自立と生活④ 地域における差別・社会的排除(同和問題を中心として) レポート作成「社会福祉対象者に対する社会的思想と態度について」※提出は第9回目の授業日		
第9回目	人間の自立と生活⑤ 人権教育の現状と課題について		
第10回目	人権尊重と権利擁護① 社会福祉・介護と人権尊重について		
第11回目	人権尊重と権利擁護② 医療と人権尊重・自己決定の原理との関係について		
第12回目	人権尊重と権利擁護③ 福祉従事者としての職業倫理について		
第13回目	人権尊重と権利擁護④ 事例研究を通して問題点を探る		
第14回目	医療保険・福祉・介護・教育場面における尊厳の尊重と人権擁護について		
第15回目	現代社会における人権問題を考える 授業のまとめ		
成績評価の方法と基準			
評価の領域	割合	評価の基準	
授業参加態度	20%	授業への積極的参加を評価する。個人ワークを自主的に行い、明確な課題意識をもって授業に臨むことができる。これらを総合的に判断する。	
レポート	10%	第1回～第8回までの講義内容に関するレポートとする。最高評価であるSは意欲的に課題に取り組んでおり、着手すべきテーマの趣旨に沿っていて、学習の成果が十分に示されている。	
調査報告書			
小テスト			
試験	70%	論述、記述式の定期試験を行い評価する。論述は根拠(エビデンス)に基づき自分の言葉で述べられていること。	
発表内容(態度含む)			
その他			
教科書と参考図書			
教科書:「人間の理解」介護福祉士養成講座・中央法規 参考書・参考資料:授業の都度指示、資料を配布する			
履修上の留意点・ルール			
社会福祉現場における虐待・不適切な支援・事例等を新聞等を通して収集しておくこと。目的意識・課題意識を明確にして授業に臨み、口頭で述べたこともきちんとノートにとること。遅刻・早退・私語・居眠りは厳禁。			